

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                         |            |              |
|---------|-------------------------|------------|--------------|
| 事業所番号   | 0990500050              |            |              |
| 法人名     | 社会福祉法人 緑風会              |            |              |
| 事業所名    | 指定認知症対応型共同生活介護事業所 いずみの里 |            |              |
| 所在地     | 栃木県鹿沼市泉町2396-3          | 電話:        | 0289-77-8177 |
| 自己評価作成日 | 平成22年 1月 27日            | 評価結果市町村受理日 | 平成22年 3月 23日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |                                                                                                 |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.t-kicenter.jp/kaigosip/Top.do">http://www.t-kicenter.jp/kaigosip/Top.do</a> |
|----------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                         |
|-------|-------------------------|
| 評価機関名 | ナルク栃木福祉調査センター           |
| 所在地   | 栃木県宇都宮市大和2-12-27 小牧ビル3F |
| 訪問調査日 | 平成22年 2月 15日            |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

鹿沼市の北部地区を中心に、地域密着サービスを始め、おかげさまで3年目に入ることができました。試行錯誤の中の2年間でしたが、職員・ご利用者も大分環境に慣れてきました。この2年間の実績を確認見直しをする3年目となります。より良い環境、安心してゆったりと生活出来るよう努めてまいります。季刊紙も発行し、地域に参加していけるよう努めています。立地条件や地域の環境に大変恵まれた所となっており、「住み慣れた地域」での生活をより充実できるようにしていきたいと思っております。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

鹿沼市で、多くの介護事業所を展開している、社会福祉法人緑風会経営のグループホームです。昨年度、初回の外部評価を契機に、即刻、改善目標計画(地域・家族との関わりなど5項目)を作成し、職員会議での議論、地域の関係機関との協議結果などを運営推進会議に諮り着実に実行している。外部からの指摘や情報・知識を貪欲に吸収し、さらに全員で工夫を加えることで、サービスの質の向上に役立っている。利用者の笑顔や家族の声からも、住み慣れた地域でゆったり生活できている様子が窺える。グループホーム、小規模多機能施設、鹿沼市北部地区の地域包括センターも併設されており、今後、地域の高齢者介護の中心的役割を担う事が期待されている事業所です。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目 |                                                      | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |                                                                 | 項目 |                                                                     | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印 |                                                                   |
|----|------------------------------------------------------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------|-----------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらい<br>3. 利用者の1/3くらい<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)              | ○                     | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○                     | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                   | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○                     | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)    | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○                     | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                  | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)         | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○                     | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○                     | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない  |    |                                                                     |                       |                                                                   |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目                                                                                            | 自己評価                                                                    | 外部評価                                                                                                                    |                                                                                          |
|--------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
|                    |     |                                                                                               | 実践状況                                                                    | 実践状況                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                        |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |                                                                                               |                                                                         |                                                                                                                         |                                                                                          |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 「職員心得」を事務所や各フロアに掲示し、周知している。昨年度の理念に「地域に関わる理念」を追加した。                      | 地域の一員として、認めていただけるように、地域に積極的に関わることを意識して『「地域」の中にいずみの里あり』を「職員心得」に追加している。2年を経過し、職員全員に「職員心得」が定着してきており、昨年に比し、言動に自信とゆとりが感じられた。 |                                                                                          |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 町内自治会に加入。夏祭りや秋のお祭り等参加させていただいている。また、地域の方々が、お話しボランティアとして、不定期ではあるが来所されている。 | 地域の方々との交流があり、見事な門松の寄贈、ご近所の蕎麦屋さんの新そば差し入れ、地域行事のさつき祭り、秋祭りなどへの参加、さらに、季刊紙を回覧板と一緒に回してもらうなど、地域との交流は着実に広がっている。                  | 幼稚園児を事業所行事へ招待したり、小中学生の体験授業を受け入れたり、若年層との交流を継続的に実施されることで、将来に向けて、地域の方々の認知症への理解が深まることに期待します。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 事業所内に「地域包括支援センター」があり、情報の交換等おこなっている。季刊紙を年4回発行し、理解を深めていただけよう努めている。        |                                                                                                                         |                                                                                          |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 2ヶ月に1回の会議を開催。各関係者より意見をいただいている。今年度より利用者代表もメンバーに加わり、より業務の充実に活かしている。       | 運営推進会議規定もあり、6回/年(2ヶ月に1回)定期開催されている。利用者代表が加わった事で、介護現場に直結した意見も出され、サービス向上に活かすなど、双方向の会議となりつつある。                              | 季刊紙又はホームページに運営推進会議のダイジェスト版を掲載するなど、全家族に事業所の活動方向が見える工夫に期待します。                              |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                  | 状況報告を行っている。(インフルエンザの対策等)地域包括支援センターや、他居宅事業所との連絡を密にし、サービス向上に努めている。        | 状況報告にとどまらず、制度改定に伴う、加算申請の条件解釈や疑問点の確認などで、積極的に出かけて、アドバイスや情報提供を得るなどの協力関係を築くよう取り組んでいる。                                       |                                                                                          |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 現在のところ、身体拘束の実績はない。ただし、職員に対しては、拘束に関する正しい理解を伝達している。                       | 居室、玄関の施錠はしていない。玄関は夜間のみ施錠。気づかないうちに言葉のさえぎりなどで抑圧感を招いていないかなど、ミーティング時に話し合い、振り返っている。                                          |                                                                                          |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 常に、身体の傷や痣等のチェックをしており、発見時は、速やかに報告するよう対策している。事例集等を元に情報を取り入れるようにしている。      |                                                                                                                         |                                                                                          |

| 自己 | 外部  | 項目                                                                                             | 自己評価                                                                       | 外部評価                                                                                                                                     |                                                      |
|----|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|
|    |     |                                                                                                | 実践状況                                                                       | 実践状況                                                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容                                    |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 研修への参加。必要な場合に対応できるようにしている。                                                 |                                                                                                                                          |                                                      |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時、面接時において、計画作成担当より説明を行っている。                                              |                                                                                                                                          |                                                      |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 家族に対し、生活の様子等毎月文書にて報告し、返事もらっている。<br>カンファレンスを行い、その場において、反映させている。             | 来訪時の家族との会話を大切にし、聴く・受容するを意識して、積極的に声かけし、些細な苦情や意見も聞き逃すことなく、即刻対応を心がけている。さらに、家族⇄事業所連絡ノートを作成し、面と向かっては言い難いことも、気軽に記入してもらい、意見や苦情が潜在化しないように心がけている。 | 昨年からの改善点であり、「継続実施」されることで、事業所運営に関する家族の意識が高まることを期待します。 |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | ケースカンファレンス及び職員会議を行い、その場において反映させている。                                        | ケースカンファレンスや職員会議などの場で意見や提案を聞くようにしているが、日頃からのコミュニケーションをより大切にし、問いかけや、聞き出す姿勢を心がけている。                                                          |                                                      |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 年2回の人事考課を実施。職員個々の目標・反省等を記入し、直属上司との面接をしている。<br>「処遇改善交付金」申請済み。               |                                                                                                                                          |                                                      |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 新採用職員に対して、1ヶ月間は夜勤・宿直等担当職員を付けて対応している。<br>研修の機会があれば、参加させている。                 |                                                                                                                                          |                                                      |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 同市内の同業者等情報交換を行っている。<br>また、見学に行ったり、受け入れたったりしている。<br>市外の新事業所の職員の実習も受け入れ対応した。 |                                                                                                                                          |                                                      |

| 自己                         | 外部  | 項目                                                                                   | 自己評価                                                          | 外部評価                                                                                              |                   |
|----------------------------|-----|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                            |     |                                                                                      | 実践状況                                                          | 実践状況                                                                                              | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |                                                                                      |                                                               |                                                                                                   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前に面接等を行い、本人やご家族の意向等確認している。入所後については、随時対応している。                 |                                                                                                   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 同上                                                            |                                                                                                   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 申請時に状況等を確認し、受入が難しいケース等については、他事業所への紹介等行っている。                   |                                                                                                   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 極力出来る事は行って頂くようにはしているが、高齢且つ身体的に低下している方もいる為、介護量は増えてきているのが現状である。 |                                                                                                   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 外出・外泊や面会は、自由に出来るようにしている。                                      |                                                                                                   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 地域の友人の面会も対応している。また、美容院やかかりつけ医等継続して利用できる体制にしている。               | 馴染みの人達との関係が経過とともに疎遠になるのを防ぐためにも、年賀状、暑中見舞いなどを絵手紙で出すよう支援している。また、外出の機会を増やし、馴染みの場所での知人・友人との出会いも支援している。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者同士自然にコミュニケーションを取っております。比較的穏やかに過ごしております。                    |                                                                                                   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                                   | 外部評価                                                                                                                             |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                                   | 実践状況                                                                                                                             | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 申請中の事業所に相談したり、事業所の情報を家族に提供する等している。                                     |                                                                                                                                  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                                        |                                                                                                                                  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | ケース記録やカンファレンス等から、本人の意向等を読み取り、本人本意に近づけるよう検討している。                        | 利用者総合台帳の内容を、A3版のシートに一覧表示し、利用し易くなるように工夫するなど、事前情報と併せて、日々の記録や表情・仕草などからも、変化する本人の思いや意向の把握に「時間をかけて、ゆっくり向き合う」ように努めている。                  |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 記録等の工夫により、職員全員が把握できるよう努めている。                                           |                                                                                                                                  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 担当職員を決め、検討し、カンファレンス等において、確認・対応策等の検討をしている。                              |                                                                                                                                  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月のカンファレンスにて検討している。更新時や、身体的な状況の変化時において、ご家族や、担当職員・計画担当と相談し、介護計画を作成している。 | 毎月のカンファレンスで、現状に即したケアが行われているか、本人・家族の要望に対応できているか、などを担当職員を交えて検討している。アセスメント、モニタリングを繰り返しながら、臨機応変に対応している。作成された介護計画は、本人・家族に説明し、同意を得ている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 個別のケース記録を作成。対応している。                                                    |                                                                                                                                  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 本人や家族のニーズには応えられるよう努めているが、多機能化までは達していない。                                |                                                                                                                                  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                          | 外部評価                                                                                                                |                                                                                                     |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                          | 実践状況                                                                                                                | 次のステップに向けて期待したい内容                                                                                   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 編み物教室や絵手紙教室等実施し、地域のボランティアの講師との交流を行っている。                       |                                                                                                                     |                                                                                                     |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | かかりつけ医の受診等、家族対応にて行っている。緊急時等の対応は、家族への連絡・搬送等対応している。             | かかりつけ医への受診や通院は基本的には家族対応となっているが、要望によっては、職員代行も行っている。ホームでの様子や変化を伝えたり、受診結果や服薬情報の提供を受け、双方で情報を共有している。                     |                                                                                                     |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 併設事業所の看護師により、健康チェックを行っている。常に連絡報告できるようになっている。                  |                                                                                                                     |                                                                                                     |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時にサマリー等を活用し、情報提供に努めている。                                    |                                                                                                                     |                                                                                                     |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 現時点では、ハードの面等を説明し、理解していただきながら、出来るだけ本人・ご家族の意向を聞きながら対応施策等説明している。 | 現状では、併設の事業所に看護職員はいるものの、グループホームにおける医療連携体制、全職員が看取り介護に関する共通認識を持つまでには至っていない。本人・家族の意向を聞きながら、事業所で出来ることを十分に説明し、対応策を検討している。 | 症状の進行に伴い、本人・家族からも終の棲家として、事業所での看取り希望も強まることが予想されます。まずは、全職員が看取り介護に関する共通認識を持つ研修・仕組み作りから、取り組まれることを期待します。 |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 緊急対応マニュアルによって対応している。AEDも設置しているので、使用方法等、職員会議等で説明している。          |                                                                                                                     |                                                                                                     |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている                                              | 避難場所の確認は出来ているが、地域との協力体制は、まだである。                               | 年2回の避難訓練は実施されている。消防用設備はスプリンクラー、排煙装置なども設置されている。危機管理マニュアルなども作成されている。地域との協力体制について、次回運営推進会議の議題とする予定。                    | 北部地区防災訓練の計画と併せて、地元消防団との連携、近隣住民との協力体制の早期確立。地震災害想定訓練の実施を期待します。                                        |

| 自己                               | 外部   | 項目                                                                               | 自己評価                                                     | 外部評価                                                                                                                                                        |                   |
|----------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                  |      |                                                                                  | 実践状況                                                     | 実践状況                                                                                                                                                        | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |                                                                                  |                                                          |                                                                                                                                                             |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 声掛けには、注意をしている。<br>個人情報に関しては、同意を取り、記録等保管している。             | 言葉だけではなく、姿勢を低くする、目線を合わせるなど、配慮しながら「声かけ」をしている様子が窺えた。個人記録は事務所の所定場所に適切に保管されている。                                                                                 |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 認知症もあるので、その場その場の対応になってしまうが、出来るだけ対応できるように努めている。           |                                                                                                                                                             |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個々の状態や、体調に合わせて対応している。                                    |                                                                                                                                                             |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 行きつけの美容室等利用できるよう対応している。<br>美容ボランティアによる対応もあり。             |                                                                                                                                                             |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている     | 調理や片付けなど出来る事は参加していただいている。                                | ADLの低下もあり、調理は難しくなっている。テーブル拭きや、片付けなど出来ることを担当している。テーブルの配置や座る場所を工夫しながら、職員も同じテーブルで、見守りながら食事をともに楽しんでいる。利用者の「出前食」のアンケートでは、お寿司が好評であり食事に変化を付ける事で、食べる楽しみへの支援を心がけている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 水分に関しては、食事やおやつ時以外でも対応。<br>食事量のチェックを行い、補助食等で対応できるようにしている。 |                                                                                                                                                             |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 就寝前にうがいや、義歯の洗浄等にて対応している。<br>起床時・夕食後に口腔ケアを実施。             |                                                                                                                                                             |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                         | 自己評価                                                       | 外部評価                                                                                                            |                   |
|----|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                            | 実践状況                                                       | 実践状況                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 排泄パターンを把握し、トイレ誘導を行っている。                                    | 開設当初より、おむつ廃止、紙パンツからパッドへの変更を意図的に取り組み、成果をあげている。本人の生活リズムに合わせた、さりげない「声かけ」によるトイレ誘導で自立排泄を支援している。                      |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                                             | 排泄状況をチェックし、対応している。<br>ヤクルトや、センナ茶等を飲んでいただき、自然な排泄を心がけている。    |                                                                                                                 |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | 基本的には、入浴日は、個々に決まっているが、それ以外でも、入浴できるようになっている。                | 最低週2回の入浴をするようにしている。入浴日は個々に決まっているが、体調や、その日の気分によって、自由に変えている。職員と1:1での入浴は他人に聞かれたくない話も出来る貴重な機会にもなっている。               |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                                              | 個室対応になっているので、休息はいつでも取れるよう対応している。<br>昼夜逆転しないようにも注意し、対応している。 |                                                                                                                 |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                                         | 看護師の管理の下、対応している。体調の変化等常に確認し、医療機関と相談する場合もある。                |                                                                                                                 |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | クラブへの参加や、外出、食事の外注等行っている。                                   |                                                                                                                 |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 買い物・散歩等対応している。<br>家族による外出も自由に出来るようにしている。                   | 季節的に外出が難しい時期であり、近所への散歩も回数が減っている。ドライブや、買い物同行などで、気分転換が図れるように工夫している。天候を見ながら、芝庭での散策、お茶飲みなど、短時間でも外気に触れる機会と運動を心がけている。 |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                               | 自己評価                                                            | 外部評価                                                                                                                                   |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                            | 実践状況                                                                                                                                   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 事務所金庫にて管理している。必要なときは、出せるようにしている。                                |                                                                                                                                        |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 希望にあわせ、対応している。                                                  |                                                                                                                                        |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 「臭い」には常に気をつけている。<br>装飾等を工夫する事によって、季節感を味わっていただけるようにしている。         | 寄贈された7段飾りのお雛様、風景写真などの掲示、利用者の手芸品の展示など季節感や生活感を採り入れている。共用空間の広さ・明るさ・清潔さは家族からも評判が良い。リビングから千手山公園を指差しながら桜の開花を楽しみに、会話をしている様子が窺えた。湿度には特に配慮している。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | フロア内にソファ等設置し、個々にくつろげる空間作りをしている。                                 |                                                                                                                                        |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 使い慣れた家具やベット等自由に持ち込んでいただき、使用していただいている。仏壇・テレビ・電気スタンド・加湿器等持参可能である。 | 各室は家具の配置や備品の配置が個々人の身体能力や好みに合わせて、使用しやすいように配慮されている。仏壇を持ち込んでいる利用者もいる。                                                                     |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 手すりの設置、テーブル・椅子・キッチン等の工夫をしている。                                   |                                                                                                                                        |                   |